

## 水谷 規男

高等司法研究科・教授

### 【研究】

3年間取り組んできた2件の科学研究費による研究の最終年度となり、再審に関する共同研究については、そのまとめとなる論文を公表した。被害者に関する研究については、韓国、台湾における調査の取りまとめをしたうえで、今後論文を執筆する予定である。

### 【教育】

過年度から制度設計にも関わってきた「学問への扉」(全学部で1年次必修)が2019年4月から開始され、裁判員裁判をテーマとする授業を提供した。また、これに関して大阪大学賞を受賞した(全学教育推進機構杉山清寛教授と共同受賞)。高等司法研究科においては刑事訴訟法応用、少年法の授業と刑事系の実務科目のコーディネートを担当した。法学部においては犯罪者処遇法を担当し、例年通り学生を刑務所見学に引率し、その参加者からは得難い体験であったとの感想が寄せられた。

### 【管理運営】

研究科長のほか、全学の役職として、法務室長を務めた。2019年度は、突発的な事態への対応に追われることが多く、いずれにおいても将来を見据えた取組が十分にはできなかった。

### 【社会貢献】

日本刑法学会と比較法学会の理事を務め、学会運営に参画した。日本学術会議の連携会員も務めてきたが、これについては実質的な寄与はほとんどできていない。